

住所分割ツール 活用マニュアル （Excel 版）

Ver1.0

2010/1/14

Unexpected Communications

1 はじめに

本マニュアルにはアンエクスpekテッドコミュニケーションズ（株）が無料で提供している住所文字列分割ツールエクセル版の活用手順に関して記載しております。

http://www.un-exp.com/service/s1001_add2pos.html

下記のような方に活用していただきたいと考えています。

- ・ 住所文字列を都道府県、市町村などの要素に分割したい
- ・ 顧客分析のために住所を要素に分割したい

本マニュアルを利用することで、次のことを行うことができます。

- ・ 住所文字列を都道府県、市町村などの要素に分割する

また要素に分割した結果を利用して下記に応用することができます。なお、下記の活用法に関しては商圏分析関連ツール活用マニュアル (<http://www.un-exp.com/add2pos/>) をご覧下さい。

- ・ 既存顧客のエリア毎の集計
- ・ エリア毎の人口データを把握する
- ・ 販促エリアの検討

【利用環境】

本ソフトウェアのご利用にはマイクロソフトエクセルが必要です。

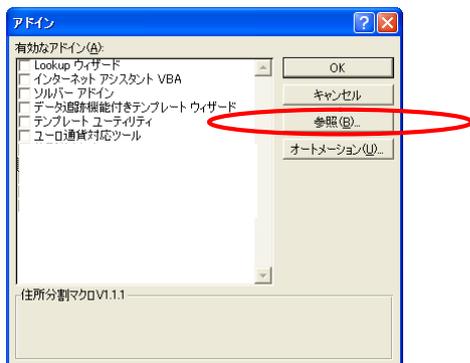
動作確認済プラットフォーム WindowsXP、Windows7

Excel Excel2002、Excel2007

【制約事項】

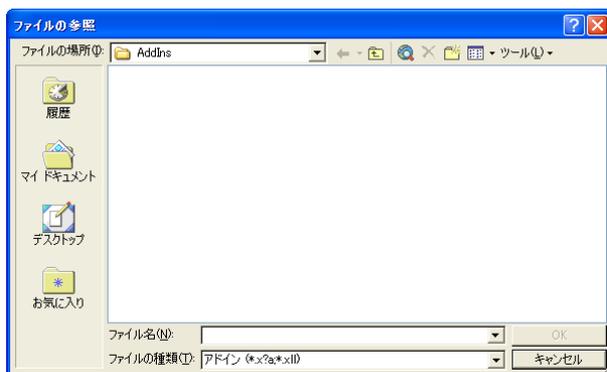
- ・ 本製品は商用、非商用に関わらずご利用頂くことができます。
- ・ 本製品の仕様に関しては、事前の予告無く変更することがございます。
- ・ 本製品は製品の都合上、正確性を保証するものではありません。ご利用により生じたいかなる損害に対して一切責任を負いません。
- ・ 本製品を再販することはできません。

2.1.2 [参照]を選択



2.1.3 ダウンロードしたファイルを選択

本ツール（ダウンロードしたファイル：xla ファイル）を指定してください。
ファイルはどのディレクトリに置いていても問題ありません。



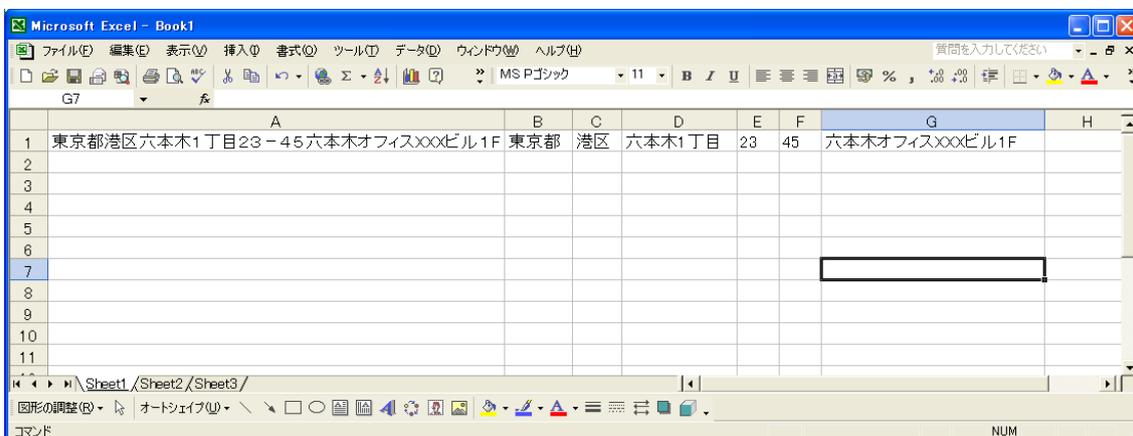
以上で登録は完了です。登録を解除したい場合は、2.1.2 の画面でチェックを外してください。

2.2 Excel 2007（Office 2007）の場合

[Office ボタン]-[Excel のオプション]-[アドイン]-[設定]より xla ファイルを指定してください。

（*）画面イメージは省略します

3 利用方法



マイクロソフトエクセルを起動し、上記のように、それぞれのセルに下記のように入力します。セル A1 に住所が入力されているとします。

セル B1

```
=UnxGetPref(A1)
```

セル C1

```
=UnxGetCity(A1)
```

セル D1

```
=UnxGetMachi(A1)
```

セル E1

```
=UnxGetNumber(A1)
```

セル F1

=UnxGetRemain1(A1)

セル G1

=UnxGetRemain2(A1)